

AnyResLive エンコーダ API でエンコーディングチャンネル再起動をスケジュールする

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco AnyResLive でエンコーディングチャンネルの定期的な再起動をスケジュールする方法について説明します。

前提条件

要件

シスコでは次のことを必須としています。

- Cisco AnyResLive エンコーダへの管理者アクセス権
- バッチファイルやスクリプトが Microsoft Windows でどのように動作するかについての知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Windows 用 Wget
- Windows バッチ スクリプト
- Windows タスク スケジューラ

- Spinnaker メッセージ サービス API

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

時には、エンコーディング チャンネル/ストリームを定期的に再起動しなければならない場合があります。Cisco AnyResLive エンコーダのスケジューリング機能は、日単位および週単位のスケジュールされたイベントに限定されます。

Windows タスク スケジューラおよび Spinnaker メッセージ サービス API によって、エンコーディング チャンネルをより柔軟な頻度で再起動できます。

注: この記事で説明している手順は、Spinnaker メッセージ サービス API が提供するその他の機能にも適用できます。

設定

注: Windows のバージョンによって、高度なシステム プロパティやタスク スケジューラなどの Windows ツールにアクセスするには、この手順とは異なる手順が必要な場合があります。

1. インターネットから Windows 用 GNU Wget をダウンロードし、この場所にあるエンコーダにインストールします。

`C:\Program Files\GnuWin32\bin`

2. Wget フォルダ パスへの Windows 環境変数を作成します。

Windows の スタート メニューで、[Computer] を右クリックし、コンテキスト メニューから [Properties] を選択します。

[Advanced System Properties] をクリックします。

[Advanced] タブで [Environment Variables] をクリックします。

[System Variables] エリアで [Path] variable を選択し、[Edit] をクリックします。

[Variable value] ボックス内で、カーソルを既存の value の末尾に置きます。セミコロンを入力し、手順 1 で Wget をインストールしたフォルダのパスを入力します。

[OK] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

3. メッセージ サービスを有効にします。

エンコーダ管理アプリケーションを開き、管理者としてログインします。

[System] タブで [Message Service] をクリックします。

そのメッセージ サービスが稼働しており、すべてのフィールドに正しい値が含まれていることを確認します。

[Service Status] : 稼働しているはずですが、稼働していない場合、[Restart] ボタンをクリックして再起動します。

Service URL (Synchronous): 選択した IP アドレスは、スケジュール タスクを実行する Windows サーバから到達可能である必要があります。[Service URL (Synchronous)] のインターフェイスを変更したら、変更を有効にするため、[Restart] ボタンをクリックして、メッセージ サービスを再起動します。

4. このフォルダを作成します。

C:\Schedule_Restart_Channels

5. 好みのエディタを使い、手順 4 で作成したフォルダに XML ファイルを作成します。そのファイルに **Restart_Channel1.xml** と名付け、このコードをそのファイルにコピーします。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SpinnakerService>
<GUID>46140015-27b9-46ea-abfa-de980eae387te</GUID>
<Target>
<Name>SPINNAKER</Name>
</Target>
<Command>
<Restart>
<Channel>1</Channel>
<Stream>0</Stream>
</Restart>
</Command>
</SpinnakerService>
```

6. 必要に応じて、XML コードの値を変更します。

GUID : 任意の値を指定できます。コード サンプルではデフォルト値を使用します。

Target : エンコーダのコンピュータ名で置き換えます。

Channel : 再起動が必要なチャネル数で置き換えます。(また XML ファイルをこの値と一致するように名称変更しなければならない場合があります。たとえば、[Channel] の値が 2 の場合、**Restart_Channel2.xml** など)。

Stream : このチャネルのすべてのストリームを再起動するため、この値は 0 のままにします。

7. 他のチャネルを再起動する必要がある場合は、追加する各チャネルの XML ファイルを作成するため、手順 5 と 6 を繰り返します。

8. 手順 4 で作成したフォルダにバッチ ファイルを作成します。そのファイルに **Restart_Channels.bat** と名付け、このコードをそのファイルにコピーします。

```
@echo off
for /f "tokens=2-4 delims=/ " %%a in ('date /t') do (set mydate=%%c-%%a-%%b)

wget http://<encoder_ip>:8099/encNode/ --post-file="RestartChannel1.xml" --header="Content-Type: application/soap+xml" --output-document=Restart_Status_ch1_%mydate%.xml
```

9. 必要に応じて、バッチ ファイルを変更します。

<encoder_ip> : エンコーダの IP アドレスで置き換えます。

---post-file= : これが、再起動するチャンネルの正しい XML ファイル名を参照していることを確認します。

---output-document= : ファイル名の「ch1」部分が、再起動するチャンネル番号に一致することを確認します。この出力は、バッチ ファイルと同じフォルダに XML ファイルとして保存されます。

バッチ ファイルで複数のチャンネルを再起動するには、各チャンネルのバッチ ファイルに個別の「wget」行を追加します。そのチャンネルに合わせて値を変更します。

10. Windows タスク スケジューラにイベントを作成します。

Windows のスタート メニューで [Control Panel] をクリックします。

管理ツール配下のタスク スケジューラ (または「スケジュール タスク」オプション) を検索します。

タスク スケジューラを開き、手順 8 と 9 で作成したバッチ ファイルを実行するタスクを作成します。タスクを作成する手順は Windows のバージョンによって異なり、ガイド付きウィザード付きまたはタブ付きウィンドウが含まれている場合があります。

スケジュールされたタスクの実行に使用するユーザ名とパスワードを入力するよう要求されたら、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。

確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

1. フォルダ C:\Schedule_Restart_Channels に作成された、再起動ステータスの XML 出力ファイルを確認します。

XML ファイルにこの応答結果を含める必要があります。

```
<Response>
<Result>Restart successful</Result>
<Error>0</Error>
</Response>
```

2. エンコーダのアプリケーション ログオンを確認します。情報タイプ イベント「SMS Message Received」が記録されているはずです。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。